

市議会だより

No. 46

ふっさ

◇ 昭和55年10月20日発行

◇ 福生市議会事務局

◇ ☎ 0425-51-1511 (代)



'80 国際婦人年から
'81 国際障害者年へ

バトントンタッチ

(市民会館前で開かれた福祉バザール)



もう一度考えてみようムダなゴミ

● ● 節約はゴミ

● 一 廃棄物広域処

の選定です。組合設立後の予算の中にも調査設計の關係として、路面測量や地質調査、管きよ調査等の処分場選定のための調査費が組まれています。

ゴミの最終処分場を昭和七十年までもたせた場合を考えると、その間に各市から出される燃えるゴミを焼却したあとの残灰は約二百七十九万立方メートルで、これは、清掃用トラックで約七十四万台分に相当する量です。

付託を受けた厚生委員会は九月十六日に委員会を開き、経費の各市町村の負担割合などについて、質疑を行い、原案可決と

決まりました。

予防接種健康被害へ

すみやかに対処

予防接種は、急性の伝染病に對して社会防衛上行われる重要な予防的措置です。しかし、いかに最善の注意が払われても、避けがたい健康被害が起こる可能性があります。医学上の特殊性があります。それにもかかわらず恐しい伝染病がまんえんするのを防ぐためには予防接種を実施しなければなりません。



もし万が一、予防接種のために健康被害を受けたら、その人に対して特別な配慮が必要になってきます。そのため法的措置が設けられ、健康被害が発生した時には迅速に対応できるように健康被害調査委員会を設置することになりました。委員会は、医学的見地から予防接種による健康被害の状況、診療内容について、資料収集等の調査をし、必要に応じて特殊検査や剖検の実施について助言ができます。

老人福祉手当など

各種手当をアップ

児童育成手当と老人福祉手当、重度心身障害者福祉手当の各種の手当条例が改正となり、支給額がふえます。

児童育成手当は、義務教育が終わる前の児童で、お父さんやお母さんが死亡してしまった子や両親が離婚してしまった子に、月々手当が出されています。また児童育成手当の中の障害手当は、二十才未満の児童で精神薄弱や脳性麻痺、進行性筋萎縮

症の児童に支給されています。

老人福祉手当は、六十五歳以上のねたきり老人に支給されています。また精神薄弱者や脳性麻痺などの人で、児童育成手当の支給を受けていない人には重度心身障害者福祉手当が出されています。

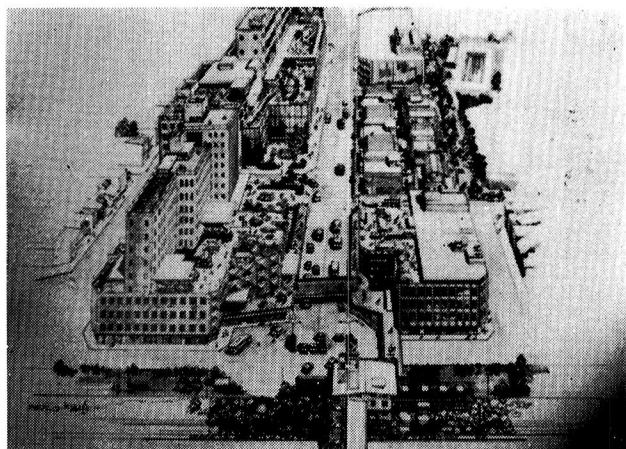
今回これらの条例改正が決まりましたので、十月一日から児童育成手当が月額五千五百円、児童育成手当の中の障害手当が七千五百円に、また老人福祉手当は一万二千五百円、重度心身障害者福祉手当が七千五百円にそれぞれ増額されました。

11日	三多摩上下水第三委員会
14日	議会運営委員会
20日	第四回臨時会、全員協議会
26日	青梅・羽村・福生地区都市下水路組合議会行政視察(27日まで)
28日	全国市議会議長会基地協議会、三多摩上下水第一委員会
9月	
3日	福生伝染病院組合議会協議会
4日	議会運営委員会
5日	東京都市収益事業組合議会全員協議会
10日	第三回定例会(第一日目)、議会運営委員会
11日	第三回定例会(第二日目)、全員協議会
13日	総務委員会
16日	厚生委員会
17日	建設委員会
19日	議会運営委員会
22日	横田基地対策特別委員会
24日	第三回定例会(第三日目)、議会運営委員会
25日	福島県二本松市議会視察来市



一般質問

第3回定例会では
7人の議員が一般
質問を行いました



準備組合の設立を希望

西口再開発 市もバックアップ

質問 西口再開発は市長の公約であり、大いに市民が注目している。今後の計画、現在の進

行状況を聞きたい。また、福生駅東口区画整理事業は大幅に遅れ、五ヶ年計画がすでに七年目となり現在七〇兆の事業遂行と聞いている。担当職員の懸命な努力は理解できるが、遅れの要因の一つに一部施行に障害となっている所があると聞く。すでに本事業に協力し長年住み慣れた地を離れた者もいる。この事をどう考えているのか。

また、地主と家主との裁判についてプライバ

こんな西口にしてみたい

シートの侵害とならない程度に状況を聞きたい。
市長 西口再開発事業は対象地区の全員の合意が必要で、今後でも討論会や説明会が必要である。開発事業は組合施行で実施することが妥当と考えるので、早期に準備組合が設立されることを希望している。これからも国・都へ補助金等の折衝を重ねていくが、実施にあたっては慎重を期し、商店が将来にわたって成功だったといえるよう、本事業の実施に向かって最大の努力をしていく。

建設部長 東口の進捗状況は、建築物においては八〇兆が完了。五十六年度には何として

も完了させるよう現在鋭意努力中である。未着手分については今後の生活設計の中で家の建替えとか、移転の場合の資金面あるいは土地がどうなのかなど個人の思惑が絡み、交渉は難航している。しかし、すでに協力いただいた方々の立場を考え、さらに努力を重ねていく。

和解に持っていくという手法で進んでいる。区画整理と民事係争は次元が違うことで両者の弁護士に説明し、原則的には裁判と区画整理の問題とは切り離すという了解を得ている。したがって家屋の移転も、区画整理法上施行できる見通しがついていた。本事業を何とか年度内に完了させたい。

被災者の一時居住

確保に努力

質問 福生市の災害件数は近隣市町村に比較するとトップである。その被害世帯は五十三年で五十世帯の百五十五人、五十四年で四十八世帯の百十七人となっている。被災者の中には福生に親類も知人もいない世帯が多い。そこでこれらの被災者のために一時的に居住できる場所はないか。たとえば地域会館の一面、あるいは簡易旅館の世話など考えはあるのか聞きたい。
市長 火災等で住居を失った



会議録って何だろう

本会議の模様は、速記者によって書き留められ、文字となり永く会議録として残されます。

町村議会の当時の会議録は要点速記でしたが、現在では、会議の模様をすべてそのまま記録しています。

会議録の閲覧は自由ですので、どなたでも見ることができます。そのため議会では、会議録のコピーを中央図書館をはじめ、わかぎり、わかたけ会館においています。

時間の都合で議事を傍聴できない方や、本会議の模様をもっと詳しく知りたい方、どうぞ図書館にある会議録をご利用ください。

質問 市長は所信表明で、地方自治体の目指す目標は市民の願いを満たす地域社会、すなわち福祉社会であると述べている。それは具体的にはどのような施策なのか聞きたい。

質問 市長は所信表明で、地方自治体の目指す目標は市民の願いを満たす地域社会、すなわち福祉社会であると述べている。それは具体的にはどのような施策なのか聞きたい。

内部に委員会を設置

国際障害者年に向けて施策協議

世帯は、近所の方や町会の協力で対処していたようだが、最近の核家族化や地方からの転入増加で、緊急確保もむずかしくな

ってきた。市でも市内の旅館と協定をしておき、その旅館をおっせんして処理していきたい。



誰もが心にぬくもりを……

障害による障害者に対して、更生への援助を考えなければならぬ。国際障害者年については委員会を作り、この中で障害者に対する福祉問題、諸施設等の検討をすることになっている。

障害者対策

委員会の設置で対応

質問 来年は国際障害者年であり、障害を持つすべての人の社会への全面参加と平等を実現するために、すべての人が積極的な行動に立ち上がり、障害者の生活と権利を守る国際的、国内的運動の新たな出発点にしようとするものである。市でも役所内だけの行政レベルの委員会の設置によって障害者年を終

わらせるのではなく、障害者も一緒に参画し実行して国際障害者年を真に実りあるものにすべきではないか。

また障害者のための公共施設の見直しについて聞きたい。

福祉部長 国際障害者年に向け、二、三の市が準備会あるいは対策協議会等を作ろうとしている。当市でも内部に委員会を設置することになった。委員会の構成、委員の選出は検討中であるが、年内に関係部課を網羅した委員会を設置し、国際障害者年について検討していく。

企画財政部長 公共施設の障害者対策は新しい施設では支障はないと思う。福祉会館は改造問題もあり、プロジェクトチームを作り検討していく。庁舎は建設以来十五年経過し、老朽化

しており、障害者向けに改造するということがばかりでなく、冷暖房等庁舎全体の改造並びに新庁舎建設との関係も含めて検討の時期にきている。

施設の維持管理費

積極的に要望

質問 当市の諸施設の大半は、防衛補助金の交付によって建設されている。これらの維持管理費が、市財政への負担の重みとなってくる。今後は新施設の補助金ばかりでなく、既設の施設の維持管理費の補助金増額運動を、強力に展開していかなければならないのではないか。

市長 新施設補助金はもちろん、施設の維持管理費の補助も、議員各位のご協力を願いつつ強力に要望していく。全国的には維持管理費よりも施設の拡大増加を望む声が高く、運動は厳しい状態だが、市独自で又防衛施設周辺整備全国協議会等を通じ、積極的に運動していく。

助役を選任

新体制でスタート

質問 新市長に寄せる市民の期待は大きい。しかし「市役所

内の空気が何となく活気がない」、「活力に欠けている」という声を最近しばしば耳にする。この要因の一つは助役不在にあると思う。速やかに助役を決め、新体制で迫力のある行政を遂行すべきではないか。

職員の研究

必要あれば海外へ

質問 八十年代の市行政は、いかに複雑多岐にわたる市民要求にこたえていくか、また、市民参加による住みよくなるさづくりを進めていくかなどいろいろと課題があると思う。そこでよい町づくりのためにも、若い優秀な職員を海外へ派遣し、外国のよい所を勉強させ、福生市の行政に生かす必要があるのではないか。

市長 緊縮財政のため職員の研修視察も近い所へ、しかも必要不可欠な範囲にとどめた。

しかし、これからは市民要求にこたえていくためにも、海外研修について検討していく。

管理棟を新設

市営プールの諸施設一挙に解決

質問 今年は例年になく涼しい夏で、プールの利用者も少なかったようであるが、子供のための水泳教室や主婦のための水泳教室は市民にたいへん喜ばれていた。しかし、せっかくよいプールがあるにもかかわらず、更衣室やトイレなどプールに付随する施設が非衛生的で使いがら。人件費などの面からも衛生的なコインロッカーにすべきではないか。またトイレも改善すべきではないか。

市長 補助金等予算の関係もあるが、来年度中に管理棟の新設を考えているので、ご指摘のロッカーやトイレ等の問題は、一挙に解決できる。

気軽に 海へ山へ

市民の保養所を

質問 暮らしにくい社会情勢の中で「気軽に少ない費用で保養に行きたい」ということはだ

市長 暮らしにくい社会情勢の中で「気軽に少ない費用で保養に行きたい」ということはだ



冷夏で利用者も例年の約六〇%



第3回定例会を

傍聴された方々

- 枝 田 谷 関
 - 伊 倉 一
 - 作 伊 倉 一
 - 静 子 一
 - 澤 本 村
 - 西 坂 田
- (敬称略)

な考え方を持っているか。また、大型店進出についての考え方を聞きたい。

市長 福生市の商業はきわめて厳しい環境にある。特に最近立川方面への購買客の流出が高く、その流出を最小限にとどめることが課題である。具体的な施策については地域の特殊性を生かした商店街づくり、融資制度の充実、地域商工業の近代化と経営の安定等、商工会と連携しながら積極的に考えていきたい。なお、大型店進出については商店街の実情もあり、十分調査、研究し共存共栄を図りながら、また、消費者の立場を考慮し前向きに検討したい。

工業については住宅地に混在しているため公害問題を抱える実情であり、地域の特殊性を考慮しながら対策を考えたい。

拜島駅北口広場

今年度中に整備完了

質問 拜島駅を利用する市民が増加しており、将来総合的な開発を望むものであるが、北口広場の西武鉄道との協定による整備計画及び南北道路跨線橋の建設計画について聞きたい。

市長 市と西武鉄道との間で結んだ協定に基づき、北口広場

商工業の近代化と

安定に努力

市長 市民のために気軽に安く楽しく過ごせるような施設を造っていく必要があると思う。市の基本計画の中にも市民保養所の設置計画があり、今後実施時期、場所、施設等について検討していきたい。

質問

近隣市町への大型店進出により、地元事業者の対策が急を要する状態である。商工業対策について具体的にどのような



「若さ」という言葉がよくにあう

の計画案が提出され協議して
るところである。費用はすべて
先方が負担し、五十五年度中に
整備を終了させたい。南北通路
跨線橋は、行政区域、財源的に
も難しい問題もあり、実現の可
能性について最善をつくし検討
してみたい。

図書館への道

来年度中に建設へ

質問 市の自慢の一つである
中央図書館を利用する者のう
ち、八高線を中心とした東西の
熊川地区の市民は、大変なまわ
り道をする状態である。市民の
強い要望もあり、東側通路の建

設について聞きたい。
市長 地域市民の連絡通路と
してその必要性から検討し、居

家庭のしつけが大切

青少年協でも育成活動を推進

質問 物質的に恵まれている
現在の子供達は、両親の温かみ
や厳しさを味わうこともなく育
っている。八王子家裁でまとめ
た昨年の多摩地区の非行実態
は、前年度をはるかに上回って
いる。青少年の育成について今
後考えられる非行防止策、教育
相談室の増設、武道館の建設に
ついて聞きたい。
市長 市としても憂慮してい

住者等に協力を要請している。
協力が得られれば五十六年度中
に建設したい。

る非行の問題は、社会全体で取
り組むべき問題である。市では
家庭のしつけに重点をおき、文
化施設などの整備を進め、より
よい生活環境の中で青少年を育
てていきたい。また、青少年問
題協議会も各関係機関と連携を
図り、青少年の健全育成活動に
努力していきたい。武道館の建
設については、総合計画の見直
しの際に検討したい。

教育長 学校側には指導の限
界もあり、家庭における教育や
しつけが大切ではないかと思
う。物質的な豊かさから予期せ
ぬ心のひずみが青少年の心身両
面に出てしまったともいわれる
が、大人自身が心の豊かさを取
りもどさねば、青少年の健全育
成はあり得ないと思う。対策に
ついては青少年問題協議会を中
心にいろいろ協議され、それぞ
れの立場で活動している。教育
委員会としてもスポーツ教室、
各種の教室講座を実施し、情操
教育の面からも努力している。
教育相談については開設以来市



ない七神の神々がいっしょに
祭られています。これは各村
々にあった神社を、人間様
ご都合主義で一箇所に集めて
祭る現象、いわゆる「合社」
が行われたためだと考えられ
ています。

神明社は、九月十九日がお
祭りでお嫁さんは里帰りし、
子供達は新しい着物を着せて
もらい、親類が集まり男は飲
み、女は食べべ一つの息抜きと
したそうです。

石段を降りると神明公園が
あり、ブランコや鉄棒や砂場、
そしてボール遊びをする元気
な子供達の声。福生村の鎮守
様というおもかげは、もうす
っかり影をひそめてしまっ
ています。

(写真は神明社)

この神社には、天照皇大神
や菅原道真公ら何のゆかりも
うです。
民から喜ばれており、一応の充
実をみているが、相談員及び相
談室の拡大等今後も十分検討し
ていきたい。

未措置児の収容

他市より問題は少ない

質問 児童の保護の必要性が
大きく社会問題として提起され
ている。そこで児童福祉法が行

政施策に反映しているかどう
か、次の二点についてその実態
と今後の施策を聞きたい。
①保育所の未措置児対策につ
いて
②学童保育事業について
福祉部長 ご指摘の点につ
いては、法に基づきあらゆる行政
機関で実施している。

①保育所特に未措置児の問題
については、完全に保育に欠け
る者よりも、やや保育に欠ける

という者の方が多いわけで、当市の場合はある程度の者までが収容できるので、他市に比べて問題が少ないようだ。

議事に委託している。現在七箇所、定員はそれぞれ四十名、指導員は十五名である。

なお、社協委託の是非については、都からもその事業内容について好評を得ているので、適切ではないかと思っている。

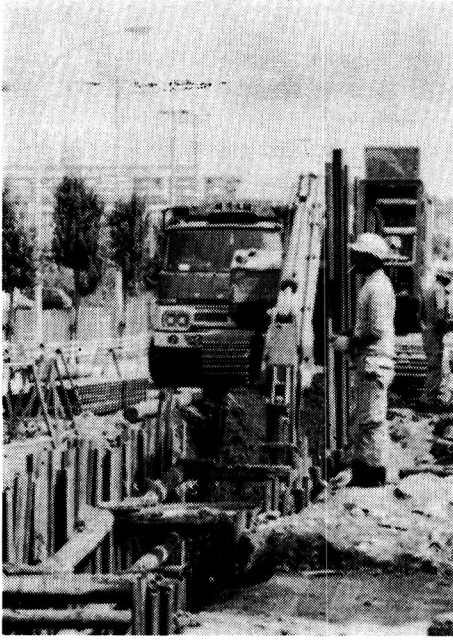
急がれる下水道の整備

普及率 四五・六九%

質問 健康で快適な生活を送るために下水道の整備が急がれているが、現在の普及状況は各市町と比較してどうか。

終末処理場の運転状況、不明水等についても聞きたい。

市長 終末処理場の処理能力と各流域市町から流入する処理量は、初期的段階であり、大きな差がある。各市町とも早期完成をめざして努力している。また、不明水の問題について



今日も急ピッチで進む下水道工事

は地下水の流入等避けられないこともあるが、管理内において十分注意していきたい。

建設部長 普及状況は八月末現在、市内全体では二一・〇一%、供用開始区域に限ったものでは四五・六九%となっている。近隣市町をみた場合五十五年三月末現在で、青梅市一〇・七%、羽村町五・二%、昭島市一七・五%、供用開始区域に限っては青梅市四四・二%、羽村町三一・九%、昭島市七五・七%となっている。

流量計と不明水との関連は、雨水あるいは地下水の浸水等について今後さらに検討を要するが、現在は基準内におさまっている。管理を徹底し、極力不明水の減少に留意したい。

住居表示法に基づき

実施に向けて考慮

質問 住居表示の問題だが、昨年の六月定例会で前市長は、調査費等を予算に計上し、審議会を作りたいと答弁している。

田村市長はどのように取り組んでいくのか考えを聞きたい。

市長 地方自治法に基づく地名、町名、地番整理の方法で、住居表示の実施に向けて進めたい。

市内上空飛行問題

米軍に善処を要請

質問 最近市内の真上を大きな飛行機が飛ぶような状態が続いている。市長は市民の安全を考へる面から日米合同委員会での合意の勧告に基づく申し入れをするといったが、その後

自主的な

防災組織づくりを

質問 防災対策については町ぐるみ、住民ぐるみの対策が重要であり、災害時には正確な情報伝達により組織的に行動をとらねばならない。避難に対する市民への指導・PR・広報無線、児童生徒の対応はどのようなになっているのか。また、防災必需品を購入する場合、市は助成をする考えはあるのか。

市長 住民の自主的な組織づくりが重要だと思ふ。現在十六町会が組織されており、未組織の町会等については今後防災組織の手引書などにより、全地域が組織化されるよう全力をつくしたい。広報無線については現在実施計画を検討中であり、五

の経過及び市内の飛行について見解を聞きたい。

市長 横田基地は国の条約に基づいて置かれた基地であり、任務の遂行上飛行するとなればやむを得ぬものと思ふが、市民の安全を守る面から飛行場の騒音軽減については、司令官に申し入れをし、最善をつくすと明言を得ている。今後も必要に応じて申し入れをしていきたい。

十六年度に調査できればその結果により万全を期したい。

防災必需品の助成については検討したい。

教育長 小中学生については、学習活動の中で災害に対する安全教育・指導をしている。災害発生時には災害対策本部等の指示により適切に対応したい。

就学時健診

要望あれば検討

質問 昨年は実施場所等について、異常な事態の中で行われたように思う。本年の実施予定及び内容、就学相談の実情について聞きたい。

教育長 法に基づき前年の十一月三十日までに実施することが義務づけられているが、本年



食給むずも声く明る

また、学校給食の食品添加物臭素酸カリウムについて、その後の研究の経過など聞きたい。

教育長 給食センターの洗剤は五十三年度から無リンに切替え、普通の合成洗剤を使用している。石けんに

ついては油の落ちが悪い、石けんかすが機械排水口に詰まる、食器に白い膜が残りにかなか落ちないというテ

については日時等まだ未定である。これから校医・学校長にも相談し、昨年に準じた方法で市の教育委員会でやる場合には、市の施設を利用して実施したい。なお、学校側で実施したいということであれば検討、協議したい。内容については内科、歯科、聴力、図形、相談コーナー等昨年と同様である。

教育次長 就学相談の実施状況については七月発行の広報で市民にPRし、七月から八月にかけて該当児童の家庭を訪問し、就学相談の措置を説明し理

解を求めてきた。八月末までに該当児童の八人の保護者から就学相談表が提出され、就学相談

早い機会によい環境を

合成洗剤の追放広域的に

を効果的に行うため通常の教育相談へのお出かけをお願いし、現在面接観察を行っている。

質問 多摩川流域で一番汚染度の高いのが福生から拜島の処理場あたりだそう。有リンから無リンへという問題ではなく、川を汚し体をむしばむ合成洗剤そのものについて市の考えを聞きたい。

次に臭素酸カリウムの問題だが、厚生省、東京都とも問題ないとしているが、はっきりとした見解を示すよう都に要望している。現在東京では臭素酸カリウムを使用しないパンのテストが進められており、まもなく結論が出ると思われるので、今後の指導に従っていきたい。

市民部長 合成洗剤の追放については、東京都の要綱に基づき広報などを通じ、市民及び事業所関係に協力を要請した。川の汚濁については当市だけでなく、上流の市町においても合成洗剤を一切使用しない等、広域的に協力する必要があると思う。市としては東京都の指導に対応しながら、できるだけ早い機会によい環境になるよう努めた。



この煙にはこまります

解決に向かって努力

河川敷野焼き問題進展

質問 多摩橋下流河川敷のゴミ焼却の黒煙の問題は、四百名の署名を添え陳情してから早くも三年を経過。その対策は遅々として進まず市民に及ぼす迷惑は計り知れないものがある。住民は一日も早い解決を期待している。この問題に対する進行状況、見通しを聞きたい。

回開き対策を考え、立入検査も昼夜十一回行い、最近では一応焼却をやめるという文書を、行政区の秋川市がもらっている。今後大量に黒煙が出るようであれば、公害防止条例に基づく停止命令、あるいは告発という段階になると思う。今後さらに解決に向かって努力していく。

都の補助金問題

対応策を協議

市長 この問題は非常にむずかしく建設省、多摩公害事務所、秋川市と十分協議しながら解決に向かって努力している。

質問 都では財政再建委員会の最終答申を具体化するための

検討を進めている。たとえば市民に大きな影響を及ぼす都立保育所などの市への移管であるが、当市には二箇所あり経費が約一億円かかる。高率補助金も五十五年度に十幾つかがカットされ、さらに残りの十五項目についていろいろなと挙げられていく。大変な財政負担となる。市長の考えを聞きたい。

市長 都市町村検討委員会の
中で、高率補助金の再検討及び都立保育所の事務事業の移管などについて、都の考えを抽象的に示されたが、具体的に市町村側へ提示されたわけではない。今後これらの対応策を検討していくとともに、市としては都の予算編成時に向けて、市長会を予算編成時に運動を続けていく。

市政のバッテリー決まる

助役には古谷徳男氏

三月に前助役が急逝以来、六箇月間空席のままであった助役について、市長から古谷徳男氏を選任したい旨の議案が提出され、全員一致で同意することが決まりました。同氏は民生、税務、建設課長等を歴任、四十八年からは議会事務局長を勤められ、温厚実直な人柄を生かし市長の補佐役として活躍されることが期待されています。

森田 猛氏(熊川八八二)
人権擁護委員に
田村氏を推せん

人権擁護委員は、議会の意見を聞いて推せんすることになっていますが、十月三十一日で任期満了となるため、五十二年十一月に同委員に就任以来、人権擁護に努められている田村良夫氏が適任であるとして、再び同氏を推せんすることが決まりました。

古谷徳男氏(福生五五〇)
教育委員に森田氏と
高崎氏を選任

九月三十日で二人の委員が任期満了となるため、委員の任命について議会の同意が求められた結果、高崎彌太郎氏を再任し、新たに森田猛氏を任命することが決まりました。

田村良夫氏(福生八八一)
山下久吉氏を
監査委員に四選

市の財政を厳しくチェックする監査委員のうち知識経験者の任期が満了するため、八月二十日に開かれた第四回臨時会に、市長は、引き続き山下久吉氏を監査委員に選任する議案を提出、議会も同意しました。

山下久吉氏(志茂一六〇)
監査委員に就任し、これが四
期目です。

せいがん

ちんじょう



採 択

- する陳情書
- 八王子市旭町一― 石野 昇氏 他一人
― 昭55・3・10 提出―
 - 陳情第二号 登録民間日雇労働者の雇用促進に関する陳情書
立川市砂川町四四三―三五
丸山鉄蔵氏
― 昭55・3・25 提出―
 - 陳情第四号 行政区域変更に関する陳情書
秋川市草花五の五 堀 辰雄氏 他一人
― 昭55・6・20 提出―
 - 陳情第六号 失業対策事業の改善と公的就労事業に関する陳情書
熊川八三〇
西村秀吉氏
― 昭55・9・11 提出―
 - 請願第三号 健康保険制度の一部「改正」をやめ、国民負担の軽減と制度改善要求に関する請願書
福生二二二七
岩本寅次氏
― 昭55・9・11 提出―
 - 請願第四号 老人医療制度の後退反対、現行制度の改善要求に関する請願書
福生二二二七
岩本寅次氏
― 昭55・9・11 提出―

請願第二号 生活実習訓練室(所)設置に関する請願書

熊川八九六
高水甲子郎氏 他六二六人
― 昭55・6・10 提出―

陳情第五号 防火貯水槽設置に関する陳情書

福生二二二〇
田村市郎氏
― 昭55・8・20 提出―

継 続

陳情第六号 地域防災コミュニティセンターの設置に関する陳情書

牛浜一四二
山下久吉氏 他九人
― 昭54・12・20 提出―

陳情第一号 国鉄運賃値上げ反対、総合交通政策の確立に関

岩本寅次氏 他五人
― 昭55・9・11 提出―

第4回臨時会

第4回臨時会が8月20日に開かれました。夏場の臨時会は議場が蒸し暑く、汗だくで審議を行うのがつねですが、今年は冷夏。蒸し暑さに悩まされることもなく審議がスムーズに行われました。そして、下水道事業会計の補正予算と第一中学校の増築工事の請負契約が決まりました。

また8月末に任期の切れる監査委員に、四たび山下久吉氏を選ぶことに同意しました。なお、第7町会に「防火貯水槽を設置してほしい」との陳情書は、厚生委員会に付託されました。

九月三十日で二人の委員が任期満了となるため、委員の任命について議会の同意が求められた結果、高崎彌太郎氏を再任し、新たに森田猛氏を任命することが決まりました。

山下久吉氏(志茂一六〇)
監査委員に就任し、これが四期目です。